

中学校調査書作成の手引き

1. 全般的事項

- (1) 出身学校で記入。調査書は事実に基づいて正確に作成する。
- (2) 数字で記入する欄は、1・2などの算用数字を用いる。
- (3) 第6学年の記録は第2学期(2学期制の場合は前期)までの評定を記入する。
『帰国子女』入試は第1学期までの評定を記入する。
『第 期』入試は第1学期までの評定でもよい。
- (4) 印の欄は記入しない。
- (5) 本校ホームページよりダウンロードして利用も可。
- (6) 出身学校の封筒で厳封する。

2. 各欄について

氏名・生年月日

年齢は平成22年4月1日現在の満年齢で、月以下は切り捨てる。

欠席等の記録

理由の欄がスペース不足の場合は、「特記事項等」の欄を利用してもよい。

学習の記録

- ・評定は通知表から転記する。ただし、数字や記号を用いていないことや、評定項目が多いなどの理由で転記が困難な場合は、6年生の通知表(第2学期までの全頁のコピー。原本に相違ないことの証明が必要)でもよい。
- ・通知表コピーで代用した場合は、その旨を「評定の基準」の欄に記載する。
- ・『第 期』入試は、6年生の第1学期までの評定(6年生の通知表の第1学期までの全頁のコピー。原本に相違ないことの証明が必要)でもよい。
- ・「評定の基準」の欄に、1学期または2学期のどちらであることを明記すること。

評定の基準

学習の記録欄の評定の基準について、絶対評価・相対評価の別、何段階評価であるかなどを記載する。

特別活動の記録

特別活動における児童の活動の状況について、主な事実及び興味と関心、参加態度、活動状況等についての所見を記入する。

総合所見・学校生活の様子

総合的に見た場合の児童の特徴や学校生活の様子等について記載する。

特記事項等

就学上において特に配慮を必要とする身体の疾病・異常・既往症、中学校入学後に留意する必要のある事項、その他「氏名・生年月日」～「総合所見・学校生活の様子」までで記入できない事項等を記載する。